

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49 (22)	外出・帰宅願望により、無断外出する可能性があり玄関の開錠時間が少ない。身体拘束の観点からも、開錠できる時間が無いか検討していきたい。	日中に玄関を開放する時間を設定する。	・一日一回15分程度から、自由な出入りができるように開錠します。開錠する時間については、その日の業務の状況を見て決定します。 ・身体拘束の研修会を開催する。	6ヶ月
2	6 (5)	室内でのレクやビデオ鑑賞などで、外気に触れる機会が減少している。また、買い物等も同行する入居者は限定されつつある。	全入居者が外気に触れ、気分転換や季節を感じる時間を設定する。	外出表を活用し、週2回以上は外気に触れる機会を作ります。	6ヶ月
3	23 (16)	ターミナルや見取り等の思いの確認は、ケアプラン時に確認しているがもっと隠された思いが聞きとれるのではないかな。	本人・家族へ、出来る範囲での聞き取りを行い、本人・家族・職員で情報の共有を図りたい。	ケアプラン時以外でも、日常のなかから思いを汲み取り、心身の情報シートへ記入していきます。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。